

こんな活動です

## 地元での学びを生かして地域貢献 ～地域のためにできることを一生懸命考えました。～

玉名	●活動名		●関係する学校名						
	ふもとマルシェの取組		荒尾市立府本小学校						
活動区分	学びによるまちづくりや地域課題解決型学習		地域人材育成	郷土学習					
	地域行事への参加・参画	ボランティア・体験活動	学校周辺環境整備	外部人材を活用した教育プログラム					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	学校運営協議会	有	無	企業・NPO等との連携	有	無
	0人		1人						

### ● 活動の概要・特徴や工夫

起業体験推進事業を受託し、取り組み始めたのがきっかけである。それぞれの学年が地域から学んだことをもとに地域の農産物等の商品化を進め、販売を行う府本マルシェを開催している。マルシェでは、1・2年生は松ぼっくりやどんぐり、3年生はハーブやお茶、4年生は小袋焼き、5年生は竹炭、6年生はオリーブ等を生かした商品を販売する。売上金の使途については、子供たちがそれぞれに考える。これまで熊本城の復興、助け合い募金、図書費等に使用している。子供たちは市内で市場調査も体験。市民の方からの厳しい対応も経験する。そのような中で、地域資源をどのようにしたら売れるか、地域のために一生懸命学習している。

### ● 活動の様子

小袋焼のことを窯元の方から習いました。そして、一生懸命まとめました。

コーヒーカップのデザインを子供が考えます。作品は窯元の方が仕上げます。

1年生から6年生まで地域資源を活用した商品販売で地元を盛り上げます。

器の美しさを味わいながら、飲んだり食べたりすることが大切だとわかりました。

スプーン置きがついています！

### ● 地域学校協働活動における効果・成果

子供、地域、学校(教職員)

- 地域のためにできることを一生懸命考えながら商品開発を行っている。子供たちは商品開発の苦労や商品の良いところを買い手に説明しながら販売する。この活動を通してコミュニケーション力や表現力が育っている。
- マルシェは体育館が会場となるが、保護者や地域の方で体育館は大混雑となる。子供たちが用意した品物は完売する。また、会場には地域から学んだ内容も掲示する。準備から当日の販売、そして片付けまで児童が主体的に活動する。
- 職員もこの学習を進める中で、地域の方の地域づくりへの意欲や社会貢献への思い等に触れている。